

【放課後等デイサービス】

事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年8月5日
事業所名：すくすくキッズ

		チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制設備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	0	0		・こまめに整理整頓を行い、安全・快適、適切な環境を維持していく。
	2	職員の配置数は適切である	3	2	2	0	slack等で情報共有をし、配置数が適切になるよう、スタッフ間で協議している。	・職員配置数は適切である。今後もさまざまな状況を考慮しつつ、適切に担当が在籍できる環境に努めていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3	0	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	2	1	0	・業務改善会議を毎月実施している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2	0	0	・年1回、アンケートを実施しており、ホームページ等で公表している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3	1	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4	0	0		・第三者評価は実施していないため、引き続き今後の検討課題としていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	0	0	・資格取得等必須なものは今後も職員体制を調整し計画を立てて機会を確保していく。	・自己研鑽は通年で進めることとし、指導後の時間や長期休暇等の有効活用も奨励していく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	1	0		・児童指導員の経験年数によりアセスメントが熟達するよう今後もフォローしていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	1	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	2	0	・カンファレンスを行い、プログラムを考え実施している。	

		チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	3	0	0	・一人一人違った内容のトークンシステムを活用して、目標達成できるように工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	1	0	・平日と週末とで違うプログラムを変化させて実施している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	1	0	・平日は小集団、週末は個別の活動等で組み合わせながら利用している状況が多い。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	1	0	・朝礼を毎日実施し、打ち合わせをして役割分担を明確にし、支援している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	4	2	1	0	夕方に打ち合わせをし、不在のスタッフにもslack等で情報共有をしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2	0	0	・毎日、その日のうちにシステムに入力をしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画書の見直しの必要性を判断している	4	2	1	0	・最低でも半年に一度はモニタリング、評価アセスメント、支援計画作成をしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	3	0	0	・ガイドラインに基づいて活動をしている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	0	0		・自立支援協議会、相談支援専門員が参画している。
21	学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	1	0	0	・定期的に情報共有をしている。		
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1	1	0		・医療的ケアが必要なお子様を現在受け入れておりません。	

		チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3	0	0	・就学前にケース会議を実施し、就学後にスムーズに情報共有ができるようにしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	3	0	0		・まだ放課後等デイサービスから障害福祉サービスへ移行したケースはないが、必要時は情報提供を行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	0	0	・定期的にセンター等と連携をしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	3	1	0		・今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策として、活動内で他施設と交流する機会は設けていない。 ・今後も保護者様の意向を確認し、慎重に検討していく。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	3	4	0	0		・すすく相談室が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2	0	0	・送迎時や面談時、及びシステム等で日々の様子をお伝えしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1	1	0	・面談の際にスタッフがペアトレで学んだ内容を助言している。	・現在ペアトレはプログラムとして実施していないが、今年度行う。
保護者への	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	1	0	・重要事項説明時に説明をしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1	0	0	・できる限り早急に相談に対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1	0	0	・毎月第3土曜日に交流会を実施している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	0	0	・保護者からの意見についてはできるだけ速やかにかつ適切に対応するように努めている。	

		チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	3	0	0	・すくすく通信を季節ごとに発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	3	4	0	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	2	1	0	・さまざまなツールを活用して意思疎通に努めている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	3	0	0		・個人情報保護の観点や、さまざまな感染症等の感染予防対策として積極的な交流はしていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知している	6	1	0	0	・マニュアル等は入口に整備しており、常に閲覧できるようにしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1	0	0	・年に2回、避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	0	・虐待防止委員会を開催し、研修の機会を設定している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	2	0	0	・重要事項説明時に身体拘束についても説明をし、同意を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされている	5	1	1	0	・現在特に指示書に基づく対応が必要な児童はいない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	0	0	・ヒヤリハットに関しては、情報共有を速やかに行っている。	